

福島第一原子力発電所1号機 建屋カバール解体に向けた飛散防止剤散布と調査の事前実施について

- 今年度末から実施予定の建屋カバール解体工事を着実に進めるため、以下の手順で飛散防止剤の散布と調査を建屋カバール解体工事前に実施します。
 - ・10月22日に建屋カバールの屋根パネルに孔をあけ、飛散防止剤を散布する作業に着手します。1枚目の屋根パネルの取り外しは10月30日頃を行う予定です。
 - ・屋根パネルを2枚取り外した後、一定期間ダストの状況を傾向監視した後、オペレーティングフロアのカレキ状況調査やダスト濃度調査等を行います。取り外した屋根パネルは、12月初旬までに一旦、屋根に戻します。
 - ・その後、建屋カバール解体工事の作業エリアにおいて、12月初旬から今年度末まで『凍土遮水壁工事』を行います。
 - ・凍土遮水壁工事期間中は、調査結果に基づき建屋カバール解体時の飛散抑制対策の有効性を確認するとともに、散水設備やカレキ撤去方法等、カレキ撤去計画の策定を進め、『凍土遮水壁工事』終了後、建屋カバール解体工事に着手する予定です。

	2014年度														2015年度		2016年度							
	9月				10月				11月				12月	1月	2月	3月	上期	下期	上期	下期				
	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W	1W	2W	3W	4W												
建屋カバール解体に向けた 飛散防止剤散布と調査	ダストモニタ手配・設置(9/5設置完了)				屋根貫通飛散防止剤散布(10/22開始予定)				屋根パネル1枚目取外し 屋根パネル2枚目取外し				ダスト傾向監視・調査				屋根パネル2枚戻し				調査結果の分析・評価・カレキ撤去計画の策定等			
建屋カバール解体																	建屋カバール解体・カレキ撤去用構台設置等							
カレキ撤去																	カレキ撤去等(検討中)							
凍土遮水壁構築													凍土遮水壁構築(1号機北側)				凍結開始予定							

※他工事との工程調整、現場進捗、飛散抑制対策の強化等により解体工程が変更になる場合がある。